

# 国土形成計画(全国計画)に関する 報告(素案)の概要

平成19年7月26日(木)

国土交通省 関東地方整備局  
首都圏広域地方計画推進室

# 第1部 計画の基本的考え方

## 第1章 時代の潮流と国土政策上の課題

### 〈経済社会情勢の大転換〉

- 本格的な人口減少社会の到来、高齢化の進展
- グローバル化と東アジアの経済発展
- 情報通信技術の発達

## 〈国民の価値観の変化・多様化〉

- 安全・安心、環境や美しさ、文化に対する国民意識の高まり
- ライフスタイルの多様化、「公」の役割を果たす主体の成長

## 〈国土をめぐる状況〉

### 一極一軸国土構造の現状

(引き続き東京・太平洋ベルトへ集中、新たな成長戦略の必要性)

### ■ 地域の自立的発展に向けた環境の進展

(東アジアの直接交流機会の増大等)、都道府県を越える広域的課題の増加

### ■ 人口減少等を踏まえた人と国土のあり方の再構築の必要性

(国土のひずみの解消と質の向上)

## 第2章 新時代の国土構造の構築

### 〈新しい国土像〉

「多様な広域ブロックが自立的に発展する国土を構築するとともに、美しく、暮らしやすい国土の形成を図る」

- 各地域ブロックが、東アジア等との交流・連携、資源を生かした特色ある地域戦略の展開により、成長力を強化
- 地域間の互惠関係を維持発展させつつ、美しく信頼され質の高い「日本ブランドの国土」を再構築
- このため、成長エンジンとなる都市・産業の強化、ブロック内外の交流・連携の促進、多様な主体の協働による地域力の結集

## 〈自立的な広域ブロック形成に向けた国と地方の協働〉

- 広域地方計画の策定
- 官民による地域戦略を支え実現する支援等国の総合的支援
- 地方分権等の環境整備

## 〈計画期間〉

- 今後概ね10ヶ年間

## 第3章 新しい国土像実現のための戦略目標

(グローバル化や人口減少に対する国土の形成)

### (1) 世界に発展するシームレスアジアの形成

- ① 東アジアネットワーク型の産業構造下における我が国産業の強化
- ② 東アジアとの交流・連携の推進
- ③ シームレスなアジアの形成とアジア・ゲートウェイを支える国土基盤の形成

(グローバル化や人口減少に対する国土の形成)

## (2) 持続可能な地域の形成

- ① 持続可能で暮らしやすい都市圏の形成
- ② 地域資源を生かした産業の活性化
- ③ 美しく暮らしやすい農山漁村の形成と農林水産業の新たな展開
- ④ 地域間の交流・連携と地域への人の誘致・移動の促進

(安全で美しい国土の再構築と継承)

### (3) 災害に強いしなやかな国土の形成

- ① 減災の観点も重視した災害対策の推進
- ② 災害に強い国土構造の再構築

### (4) 美しい国土の管理と継承

- ① 循環と共生を重視し適切に管理された国土の形成
- ② 流域圏における国土利用と水循環系の管理
- ③ 海域の適正な利用と保全
- ④ 魅力あふれる国土の形成と国土の国民的経営

## (5)「新たな公」を基軸とする地域づくり(横断的視点)

- ①「新たな公」を基軸とする地域づくりのシステム
- ②多様な民間主体の発意・活動を重視した自助努力による地域づくり

## 第4章 計画の効果的推進

- (1) 国土基盤投資の方向性
- (2) 国土情報の整備・利活用と計画のモニタリング
- (3) 計画関連諸制度の点検等
- (4) 国土利用計画との連携

# 第2部 分野別施策の基本的方向

## 第1章 地域の整備

- (1) 住生活の質の向上及び暮らしの安全・安心の確保  
(中古住宅市場整備 等)
- (2) 暮らしやすく活力ある都市圏の形成(集約型都市構造、  
医療等の連携 等)
- (3) 美しく暮らしやすい農山漁村の形成(集落機能の維  
持・再生 等)
- (4) 地域間の交流・連携と地域への人の誘致・移動の促  
進(二地域居住 等)
- (5) 地理的・自然的・社会的条件の厳しい地域への対応

## 第2章 産業

- (1) イノベーションを支える科学技術の充実(科学技術基盤の強化 等)
- (2) 地域を支える活力ある産業・雇用の創出(魅力ある企業立地環境整備 等)
- (3) 食料等の安定供給と農林水産業の展開(担い手育成・確保、輸出促進 等)
- (4) 世界最先端のエネルギー需給構造の実現とその発信

### 第3章 文化及び観光

- (1) 文化が育む豊かで活力ある地域社会(新しい日本文化の創造・発信等)
- (2) 観光振興による地域の活性化(国際競争力のある観光地づくり等)

### 第4章 交通・情報通信体系

- (1) 総合的な国際交通・情報通信体系の構築(広域ブロックゲートウェイ等)
- (2) 地域間の交流・連携を促進する国土幹線交通体系の構築
- (3) 地域交通・情報通信体系の構築(ユビキタスネットワーク基盤等)

## 第5章 防災

- (1) 総合的な災害対策の推進（減災、交通・情報通信のリダンダンシー強化 等
- (2) 様々な自然災害に的確に対応するための  
具体の施策

## 第6章 国土資源及び海域の利用と保全

- (1) 流域圏に着目した国土管理(総合的土砂管理 等)
- (2) 安全・安心な水資源確保と利用(渇水に強い地域づくり 等)
- (3) 次世代に引き継ぐ美しい森林(担い手育成・確保 等)
- (4) 農用地等の利用の増進(農地の効率的利用 等)
- (5) 海域の利用と保全(沿岸域圏の管理 等)
- (6) 「国土の国民的経営」に向けた施策展開

## 第7章 環境保全及び景観形成

- (1) 人間活動と自然のプロセスとが調和した物質循環の構築(温暖化対策 等)
- (2) 健全な生態系の維持・形成(広域的なエコネットの形成 等)
- (3) 良好な景観等の保全・形成(地域の個性ある景観の形成 等)

## 第8章 「新たな公」による地域づくりの実現

- (1) 「新たな公」の担い手確保とその活動環境整備（**中間支援組織の育成** 等）
- (2) 多様な主体による**国土基盤のマネジメント**
- (3) 多様な**民間主体の発意・活動**を重視した自助努力による地域づくり

# 第3部 広域地方計画の策定・推進

## 第1章 基本的考え方

- 広域ブロックごとの特色ある施策展開
- 広域地方計画協議会を通じた地域の関係主体の協働
- 北海道総合開発計画及び沖縄振興計画との連携

## 第2章 独自性のある広域地方計画の策定

### (1) 策定にあたって必要な検討事項

- ①地域の現状分析に基づく地域特性の把握
- ②地域の発展に向けた独自の地域戦略の立案
- ③重点的・選択的な資源投入

### (2) 地域戦略の立案にあたっての視点

- ①国土上の自らの位置づけと東アジアでの独自性の発現
- ②特性を踏まえた域内の各都市・地域の連携方策
- ③全国共通の課題に対するブロック独自の対応策
- ④それぞれの広域ブロック固有の課題への取組